

武蔵野大学薬学部

～実務実習事前学習～

【目的】

- 実務実習前に、薬剤師としての基礎的な知識・技能・態度を身に付ける。
- 卒後も社会に通用する高度な知識とコミュニケーション能力、生涯にわたって学習し常に切磋琢磨する態度を身に付ける。

【基本方針】

- 少人数制による教育
- 厳格な学生評価(実技試験)
- コミュニケーション能力の向上
- 薬物治療に介入できる薬剤師の育成

【授業の概要】

時期	授業名	時間	内容	形式
4年 前期	臨床調剤学1	24	薬剤師の使命と倫理。適切な用法用量の設定	少人数グループ討論
	臨床調剤学2	24	リスクマネジメント(事例解析、院内感染予防、副作用の早期発見)	少人数グループ討論
	臨床薬学1	24	薬学的問題点の抽出。処方・症例検討	講義・演習
	基礎調剤実習	36	計量調剤の基本的な手技(散剤、水剤、軟膏剤)	実習、実技試験
	事前実習(前期)	27	模擬病棟実習(模擬患者とのコミュニケーション、患者モニタリング、計画立案、フィジカルアセスメント)	少人数グループ実習
4年 後期	臨床薬学演習1	24	医薬品情報、薬物治療モニタリング、自己血糖測定、ペインコントロール、在宅医療、一般用医薬品、患者モニタリング、薬学的問題	少人数グループ討論
	臨床薬学演習2	24	疾患・薬物治療の理解と症例検討	少人数グループ討論
	事前実習(後期)	81	患者対応、処方監査、疑義照会、計数計量調剤、服薬指導、無菌操作、医薬品の管理、総合演習	少人数グループ実習 実技試験
5年	臨床薬学2	24	症例に基づいた薬物治療の最適化の検討	少人数グループ演習

合計288時間



少人数グループ討論



学生評価



薬物治療への介入



事前学習の様子

少人数グループ討論・発表会



注射薬混合調製



調剤実習(水剤)



模擬患者さんへの吸入指導



フィジカルアセスメント演習